

ベルーフニュース vol.42

発行日：2022年5月12日

♪2022年度の抱負

ITエンジニア、データサイエンティストなどの専門職就労の可能性をさらに広げていくために、IT系のインストラクターを2名増員しました。いずれも、大手企業で研修開発と新人教育に携わってきたプロですが、障害福祉分野は初めて関わります。2人の採用に合わせ、社内研修とOJT体制を再構築し、先日集合研修の第1日目を行いました。職員研修も、ベルーフの通常研修と同じく、原則からレクチャします。ベルーフの原則はヨーロッパ、特にドイツ・イタリアの障害者就労施策を直に学んだものなので、日本とは異なる考え方も多く、なかなか手強い内容ですが、活発に質問したり、議論したりしながら、お互いに理解を深めていきました。

この後は、カウンセリング担当の精神科医によるセミナー、私たちの事業の根幹である総合支援法と障害福祉サービスについてのレクチャと続きます。通常研修を行いながらの実施ですが、いずれもこの事業には必須の学びですので、きちんと伝達して行きたいと考えています。

職員研修の後は、事業所近辺で食事をとりながら、ささやかな歓迎会。コロナ禍以降、こういう機会もめっきり減ってしまいましたが、ざっくばらんにお互いのことを話し、楽しい一時を過ごしました。

研修の拡充以外にも、職員の勤務体制の見直しや業務効率化、効果の高い支援方法の模索などに取り組み、ベルーフという組織の力をより高めて行きたいと思います。ドイツの障害者就労も、掃除や軽作業などから始まったのは日本と変わりませんが、その後サービス業や専門職へと、職域を拡大させて行きました。そこには当人の努力もさることながら、支援者の様々な試行錯誤があったはず。障害の有無に関わらず「就きたい職業に就く」ことが出来るよう、諦めず挑戦し続けて行きたいと思います。

♪卒業式のご紹介

就労が決まるとは、同時にベルーフの卒業が決まるということです。2015年秋に最初の卒業生が誕生した時から継続している、ベルーフの卒業式を紹介します。

卒業式には、職員も現研修生も全員が参加します。現研修生の前で、施設長の署名入りの修了証書を手渡します。修了証書には、在籍中に習得した研修名が書かれており、1つ1つの研修の名称を、ゆっくり読み上げていきます。その研修に取り組んでいた時の真剣な表情や、色々な相談をしてきたこと、時には意見が衝突して延々と話し合ったことなどが次々思い出される、静かで大切な時間です。個人差はありますが、平均して20科目ほどの研修を習得し、皆巣立って行きます。

修了証書授与の後は卒業生の挨拶です。多くの卒業生が、ベルーフで過ごした日々を振り返りながら、現研修生たちに対し、あなたもきっと大丈夫というメッセージを残して、明日からの仕事に挑んで行きます。その背中への頼もしさは、現研修生に勇気を与え、決意を新たにさせています。

4月末にも1人の研修生が卒業して行きました。ベルーフ3人目のデータサイエンティストとして、5月から働いています。まずはOJTからのスタートですが、ベルーフの研修に地道に取り組んだ彼ならきっと、仕事と遊びと生活を楽しむ人生を歩んで行ってくれることと思います。



就労移行支援事業所ベルーフ

東京都指定障害福祉サービス事業所 1310500739

〒112-0002 東京都文京区小石川5-4-1 瑞穂ビル9階

E-mail info@beruf.xyz Web <http://beruf.xyz/>

Facebook <http://www.facebook.com/beruf.xyz/>